SHARP

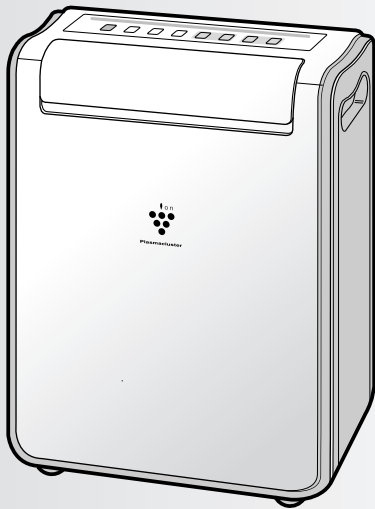
冷風・衣類乾燥 除湿機

取扱説明書

形名

シー ブイ ティー シー

CV-T100C

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
この取扱説明書は、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

特長

- **プラズマクラスターイオン®搭載**
- **TPOに合わせて手軽に使えるクール&ドライ運転**
- **縦横スイングルーバー**

この製品は業務用には使用しないでください。

エアコンと違い、部屋全体を冷房することはできません。閉め切った場所で使われた場合は、むしろ室温が上がります。

もくじ

エコロジークラスでいきましょう。シャープ。

冷風・衣類乾燥 除湿機 CV-T100C

この製品は、こんなところがエコロジークラス。

グリーン材料 **人や地球環境に配慮されたものを、できる限り使用。**

- オゾン層を破壊しない新冷媒HFC(R134a)を採用。
- すべての基板に無鉛はんだを使用。

プラズマクラスターイオンの効果

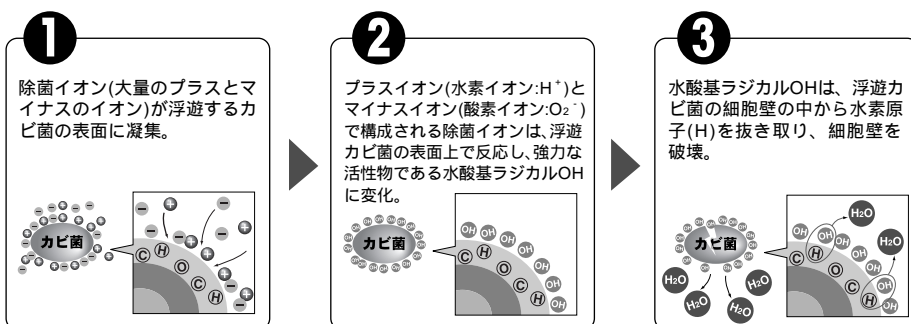
〔除菌イオン〕が、お部屋に浮遊している「カビ菌」を取り囲み、除去します。
だからカビが繁殖するさいのカビ臭さを抑えることができます。

- 測定方法：プラズマクラスターイオン運転時の気中浮遊菌数を、エアーサンプラーにて測定。
  - ・試験機関：(財)石川県予防医学協会
  - ・除菌方法：除菌イオンを空中に放出。
- 詳しくはインターネットでプラズマクラスターイオンの効果を紹介していますので、ご覧ください。
  http://www.sharp.co.jp

除菌イオンが浮遊カビ菌を除去するしくみ

❶ 除菌イオン(大量のプラスとマイナスのイオン)が浮遊するカビ菌の表面に凝集。

❷ プラスイオン(水素イオン:H^+)とマイナスイオン(酸素イオン:O_2^-)で構成される除菌イオンは、浮遊カビ菌の表面上で反応し、強力な活性物である水酸基ラジカルOHに変化。

❸ 水酸基ラジカルOHは、浮遊カビ菌の細胞壁の中から水素原子(H)を抜き取り、細胞壁を破壊。

細胞壁を破壊されたカビ菌は自滅!

はじめてお使いになるとき

排水タンクに水が残っている場合がありますが、工場での製品検査時の除湿水で、異常ではありません。

1 箱から製品を取り出し､包装材を取り除く｡
包装箱と包装材は、製品保管用として保存してください。
排水タンク内のフロートに付いている青色の部品は、取りはずさないでください。

2 水平で丈夫な場所に設置する。
製品がガタつく場所では、振動や運転音が大きくなります。

3 差込プラグをコンセントに差し込む。
電源は一般家庭用交流100Vです。

知っておいていただきたいこと

運転可能なお部屋の温度は、約5℃～40℃です。

- 室温が約5°C未満の場合は、除湿した水の凍結防止のため保護装置がはたらき圧縮機の運転を停止します。
- 室温が約40°C以上になると、機械に無理がかかるため保護装置がはたらき本体の運転を停止します。
- 高湿の場合は、40°C以下でも保護装置がはたらき、本体の運転を停止する場合があります。
- 室温が約35°C以上のときは、風量｢弱｣｢中｣で運転中でも圧縮機(コンプレッサー)の温度を下げるため、風量が自動的に｢強｣になります。(風量ランプは｢弱｣｢中｣のまま)

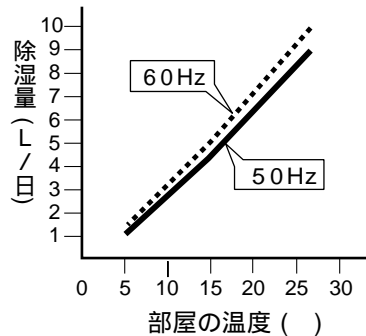
運転中は室温が上がります。(本機には冷房暖房機能はありません)

｢冷風｣｢自動｣｢連続｣｢衣類乾燥｣の場合、ルーバーや背面吹出口から暖かい風を吹き出す構造ですので、お部屋を閉め切ったまま長時間運転すると、室温が上がります。

除湿量は、お部屋の温度･湿度によって変わります。

温度が低くなる冬期の除湿量は、右図のように少なくなります。

湿度60%の場合

**冷風運転
風量｢強｣のとき**

使用場所について。

右の所への設置はさけてください。

- 海浜地区など、塩分の多い所。
- 温泉地区など硫化ガスの多い所。
- 機械油の多い所。
- 水蒸気や油煙の多い所。

再運転は約3分後。

｢冷風｣｢自動｣｢連続｣｢衣類乾燥｣停止後や、差込プラグを差し込んだ直後に、運転入／切ボタンを押しても機械保護のため、約3分間は圧縮機(コンプレッサー)の運転はおこなわず、送風のみとなります。

霜取りについて。

お部屋の温度が約17℃以下になると、内部の霜を取るために自動的に霜取りをおこないます。

- 霜取り中は、圧縮機(コンプレッサー)が停止し、運転音が変わります。
- 霜取りは部屋の温度と湿度によっても異なりますが、約45分間に1回(約12分程度)です。
(低温時は1回の霜取り時間が長くなります)

このため低温時には排水タンクに水が溜りにくいことがありますが、故障ではありません。

安全上のご注意

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠ **警　告**	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠ **注　意**	人がけがをしたり、財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

禁止
してはいけないことを表しています。

必ず実施
しなければならないことを表しています。

火気禁止
火気を近付けてはいけないことを表しています。

プラグを抜く
必ず差込プラグを、コンセントから抜くことを表しています。

分解禁止
分解や修理改造の禁止を表しています。

水ぬれ禁止
ぬらしてはいけないことを表しています。

⚠ 警　告

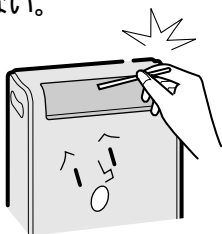
禁止

定格電圧(100V)以外で使わない。
表示以外の電圧で使うと、感電や火災の原因。

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用･他の電気器具とのタコ足配線をしない。
感電や発熱・火災の原因。

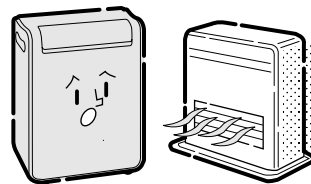
電源コードは傷付けたり、加工しない。
電源コードを傷付ける・無理に曲げる・引っ張る・ねじる・束ねる・加熱する・重いものを載せる・挟み込むなどすると、破損や感電・火災の原因。

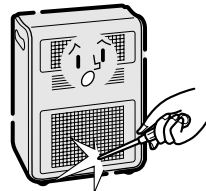
差込プラグの抜き差しによる運転や、停止をしない。
感電や火災の原因。

空気の吹出口や吸込口に、指や異物(ピン・針金・棒)などを入れない。
内部でファンが高速回転しているので、けがをしたり、内部に触れて感電・故障の原因。

スプレーなどの缶を、本体の近くに置かない。
また、引火性の危険物(ガソリン・シンナー)などの近くで使用しない。
引火・爆発や火災の原因。

長時間冷風を体に直接当てたり、冷やし過ぎない。
体調不良・健康障害の原因。

火気禁止

発熱器具の近くに置かない。
樹脂部分が溶けて引火の原因。

分解禁止

改造はしない。また修理技術者以外の人は、絶対に分解したり、修理･改造をしない。
火災・感電・けがの原因。

必ず実施

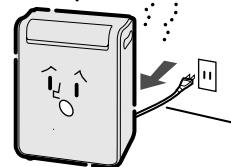
差込プラグは、ほこりが付着していないか確認し、がたつきのないように、刃の根元まで確実に差し込む。
差込プラグのほこりは定期的に乾いた布で拭く。ほこりが付着したり接続が不完全な場合は、感電や火災の原因。

修理は、お買いあげの販売店または、お客様ご相談窓口にご相談を。
修理に不備があると、感電・火災・けがなどの原因。

プラグを抜く

異常時(こげくさいなど)は運転を停止して、差込プラグを抜きお買いあげの販売店または、お客様ご相談窓口にご相談を。
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災などの原因。

⚠注　意

禁止

キャスターを引きずって、本体の方向を変えたり、移動させない。
また、畳や傷の付きやすい床・凹凸のある場所・毛足の長いじゅうたんなどでは持ち上げて移動してください。床面や、じゅうたんの表面を傷付ける原因。14ページ

本体を倒したり、落としたりしない。本体を倒した状態で保管・移動しない。
器具破損や漏水・漏電などの故障の原因。

押し入れ・家具のすき間など、狭い場所で閉めきって使わない。
風通しが悪くなり、発熱・発火の原因。

本体の上に、花瓶など水の入った容器を載せない。
本体内部に浸水して電気絶縁が劣化し、感電や漏電・火災の原因。

油・可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置はやめる。
万一漏れて本体の周囲に溜まると、発火の原因。

屋内専用です。直射日光の当たる場所・雨風の当たる場所で使わない。
過熱や感電・漏電・火災の原因。

美術品や学術資料などの保存、特殊用途には使わない。
保存品の品質低下の原因。

除湿水を飲料用・飼育用などに使わない。
健康を害するおそれあり。

製品の上に乗ったり、もたれたりしない。
製品の移動や転倒などにより、けがの原因。

製品からの風が、直接当たる所に燃焼器具を置かない。
燃焼器具の不完全燃焼の原因。

差込プラグは、電源コードを持って抜かない。
芯線の一部が断線して発熱・発火の原因。

空気の吹出口や吸込口を布などでふさがない。
風通しが悪くなり、発熱･発火･故障の原因。

人のいる部屋で、長時間使わない。
「冷風」「自動」「連続」「衣類乾燥」時には、熱が発生し、部屋の温度が上がり乾燥し、健康を害するおそれあり。次のような方がお使いのときは、ご注意を。
(乳幼児・お子様・お年寄り・自分で器具の操作ができない方)

テーブルの上など高い所で使わない。
本体が落下したとき、けがの原因。

水ぬれ禁止

水のかかりやすい場所や、風呂場などで使わない。
感電や漏電・火災の原因。

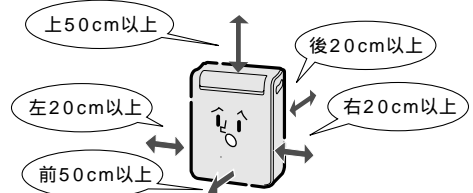
製品を水洗いしない。
感電の原因。

必ず実施

連続排水する場合はホースの折れ曲がり・落差などに注意し確実に排水するよう配管する。
内部の水が室内にこぼれて、家財などを濡らす原因。

排水ホースを使う場合は、ホースの周囲が、氷点下にならないようにする。
ホース内部の水が凍結し、本体内部の水が室内にこぼれて家財などを濡らす原因。

お手入れをするときは、必ず運転入/切ボタンを「切」にし、差込プラグを抜く。
内部ファンの高速回転のためけがの原因。

本体の周囲は、下図寸法以上のすき間をあける。
風通しが悪くなり、発熱･発火･故障･保護装置の作動の原因。
※左右どちらか一方は、開放空間にする。

移動するときは必ず運転を停止し、排水タンクの水を捨てる。
内部の水が室内にこぼれて家財などを濡らしたり、感電・漏電・火災の原因。

水平で丈夫な場所で使う。
ご使用中に本体が倒れると内部の水が室内にこぼれて家財などを濡らす・感電・漏電・火災の原因。

別荘など無人で長時間使うときは、定期的に点検をする。
過熱や漏水・漏電の原因。

同じ場所で長期間ご使用の場合は、製品下部や床の周辺などの汚れにご注意を。
製品を移動して床なども時どき清掃を。

プラグを抜く

長時間使わない場合は安全のため、差込プラグをコンセントから抜く。
感電や漏電・火災の原因。

テレビ・ラジオや電波時計などから2m以上離す。
電波障害の原因。

各部のなまえとはたらき

ルーバー 9〜13 ページ
(前面吹出口)

プラズマクラスターイオンランプ 8 ページ

連続排水穴 17 ページ

止水弁

排水タンクセット時
開

排水タンク取り出し時
閉

水位窓
(本体左側面)

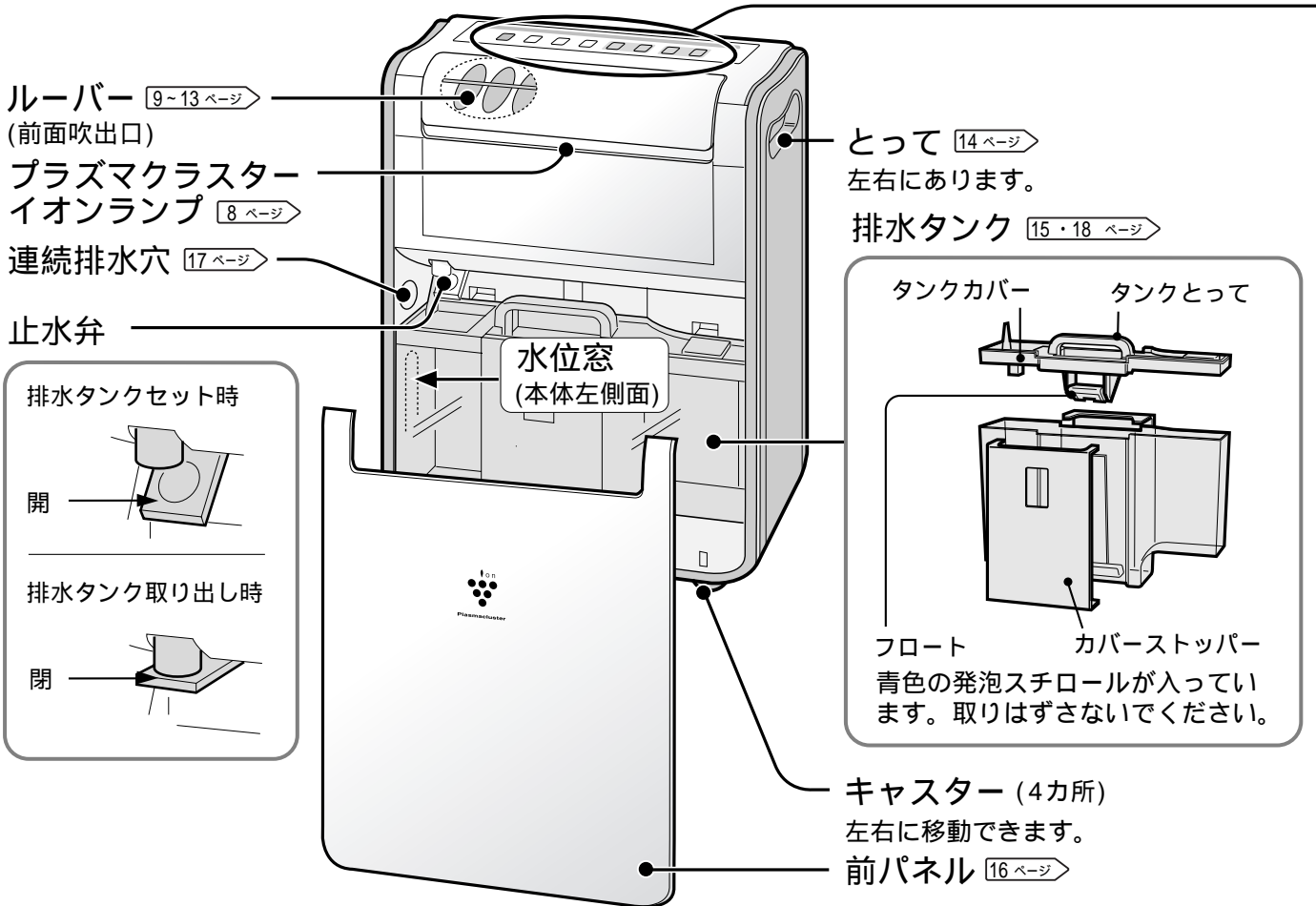
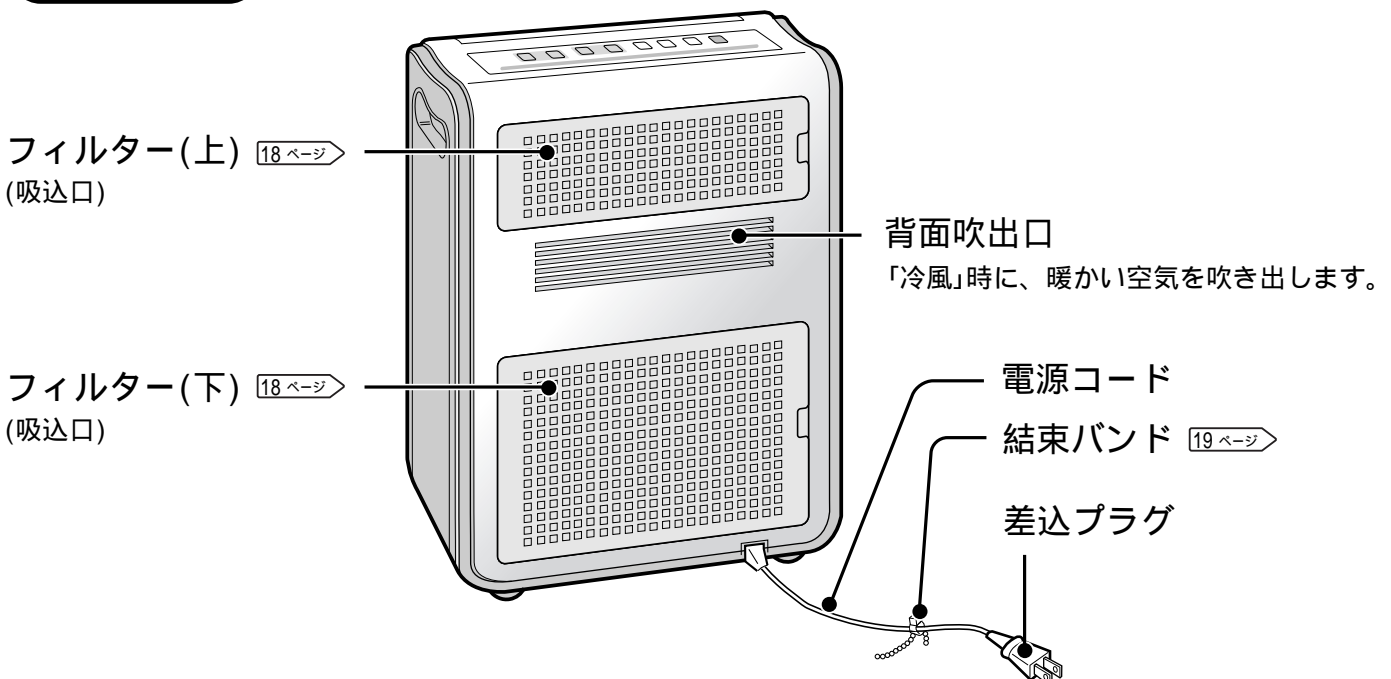
とって 14 ページ
左右にあります。

排水タンク 15・18 ページ

タンクカバー
タンクとって
フロート
カバーストッパー
青色の発泡スチロールが入っています。取りはずさないでください。

キャスター (4カ所)
左右に移動できます。

前パネル 16 ページ

Plasmacluster

操作部

プラズマクラスターランプ 8〜13 ページ
「点灯」…… プラズマクラスターイオン(クリーン)運転をおこないます。
「消灯」…… プラズマクラスターイオン(クリーン)運転を停止します。
風量ランプ 9〜13 ページ
「強」………… 各運転モードの風量が「強」です。
「中」………… 各運転モードの風量が「中」です。
「弱」………… 各運転モードの風量が「弱」です。
切タイマーランプ 14 ページ
切タイマー時間を表示します。オートオフ機能の動作時には、「6」のランプが点滅します。
スイングルーバーランプ 9〜13 ページ
「上下」…… ルーバーが自動で上下にスイングします。
「左右」…… ルーバーが自動で左右にスイングします。
「消灯」…… ルーバーのスイングを停止します。
運転ランプ 9〜13 ページ
運転中に点灯します。
ドライ切換ランプ 10〜12 ページ
「自動」……… 自動運転。
「連続」……… 連続運転。
「衣類乾燥」…… 衣類乾燥運転。
タンク満水ランプ 15 ページ
排水タンクの水が満水になると点滅します。
クール切換ランプ 9，13 ページ
「冷風」……… 冷風運転。
「送風」……… 送風運転。
SHARP
満水
2 4 6時間
クリーン
弱 中 強
上下 左右
自動 連続 衣類乾燥 冷風 送風
運転 入/切
切タイマー
プラズマクラスター
風量切換
スイングルーバー
ドライ切換
クール切換
運転入／切ボタン 9〜13 ページ
運転の「入」「切」をおこないます。
クール切換ボタン 9，13 ページ
「冷風」と「送風」の切り換えをおこないます。
切タイマーボタン 14 ページ
運転時間を、2・4・6時間に設定できます。
ドライ切換ボタン 10〜12 ページ
「自動」・「連続」・「衣類乾燥」の切り換えをおこないます。
プラズマクラスターボタン 8〜13 ページ
プラズマクラスターイオン(クリーン)運転の「入」「切」をおこないます。
スイングルーバーボタン(左右) 9〜13 ページ
ルーバーの左右スイングの「入」「切」をおこないます。
風量切換ボタン 9〜13 ページ
風量の「強」「中」「弱」の切り換えをおこないます。
スイングルーバーボタン(上下) 9〜13 ページ
ルーバーの上下スイングの「入」「切」をおこないます。

基本機能の紹介

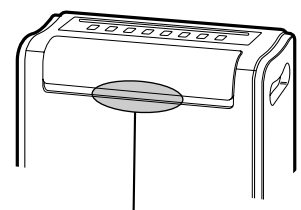
こんなとき	運転
冷風がほしいとき ● キッチンでの調理中や、お風呂上がりの脱衣所や洗面所などで。 エアコンと違い部屋全体を冷房することはできません。閉め切った場所で使う場合は、むしろ室温が上がります。 **ワンポイント** 冷風運転中にも除湿効果があります。	冷風 9 ページ
お部屋の湿気を取りたいとき ● お部屋をさわやかな湿度に保ちたいとき。 ・温湿度センサーのはたらきで、湿度とプラズマクラスターイオン(クリーン)運転を自動コントロールします。	自動 10 ページ
● 連続してお部屋などの湿度を下げたいとき。 ・畳やカーペットの乾燥に。 ・押し入れやクローゼットの乾燥に。(乾燥は押し入れやクローゼットを開けて) ・天井や壁・窓ガラスの結露防止に。	連続 11 ページ
洗濯物を乾かしたいとき ● 洗濯物を早く清潔に乾かしたいとき。	衣類乾燥 12 ページ
風だけがほしいとき ● 扇風機やサーキュレーターとして使う。	送風 13 ページ
除湿せずにお部屋の空気を清潔にしたいとき ● プラズマクラスターイオン(クリーン)運転と送風だけの運転。	

プラズマクラスターイオン運転について

● **プラズマクラスターイオン(クリーン)運転「入」を選んだ状態で、以下の条件のときは、自動的に高濃度運転(※)になります。**

「自動」・「衣類乾燥」…… 湿度が約70%以上になると高濃度運転になります。ただし「衣類乾燥」運転時は運転開始後、15分間は湿度に関係なく高濃度運転をおこない、素早く除菌します。

高濃度運転中は、プラズマクラスターイオンランプがゆっくりと点滅します。

※ 湿度が高いときはカビ菌が活動しやすいため、プラズマクラスターイオンの発生量を増やし、よりカビ菌の活動を抑えます。

プラズマクラスターイオンランプ

冷風運転

排水タンクは、必ず正しくセットしてください。
- **正しくセットされていないと、タンク満水ランプが点滅して、運転できません。**

冷風がほしいとき

表示例	冷風	風量「強」	プラズマクラスター「入」	スイングルーバー上下「入」	スイングルーバー左右「入」

ワンポイント **冷風運転中にも除湿効果があります。**

1. **運転入／切ボタンを押す。**
   運転ランプが点灯し、運転が始まります。
2. **クール切換ボタンを押して、「冷風」を選ぶ。**
3. **風量切換ボタンを押して、「強」「中」「弱」のお好みの風量を選ぶ。**
4. **プラズマクラスターボタンを押して、「入」または「切」を選ぶ。**
   「入」のときは、プラズマクラスターイオンランプが点灯します。
5. **スイングルーバーボタン(上下)を押して、「入」または「切」を選ぶ。**
   「入」のときは、ルーバーは自動で上下にスイングします。
   (お好みの位置で「切」にするとその位置で停止)
6. **スイングルーバーボタン(左右)を押して、「入」または「切」を選ぶ。**
   「入」のときは、ルーバーは自動で左右にスイングします。
   (お好みの位置で「切」にするとその位置で停止)

冷風運転時には室内湿度に関係なく連続で冷風運転をおこないます。
プラズマクラスター「入」のとき、プラズマクラスターは標準運転をおこないます。

停止するときは **もう一度、運転入／切ボタンを押す。**
すべてのランプが消灯し、運転が停止します。

メモ

- スイングルーバー上下、スイングルーバー左右は、手で動かさないでください。モーターに負荷がかかり、故障の原因になります。
- スイングルーバーを手で動かして閉めた状態で運転しないでください。
  本体表面に結露が発生する場合があります。
- 運転停止後、電源コードを抜かずに再び運転をおこなうと、以前設定した運転モードで運転します。
- プラズマクラスターイオン(クリーン)運転時に前面吹出口から「チッチッチッ」と音がすることがありますが、イオン発生素子の音で、故障ではありません。
- 「冷風」「自動」「連続」「衣類乾燥」時には熱を発生し、室温が上がります。

自動運転

センサーのはたらきにより、お部屋をさわやかな湿度に保ちます。

表示例 | 自動 | 風量「強」 | プラズマクラスター「入」 | スイングルーバー(上下)「入」 | スイングルーバー(左右)「入」 |

ワンポイント 自動運転モードには、低温時(室温15℃以下)に除湿量を向上する機能を搭載しています。(風量ランプはそのままで、自動的に風量が増えます)

❶ 運転入／切ボタンを押す。
運転ランプが点灯し、運転が始まります。

❷ ドライ切換ボタンを押して、「自動」を選ぶ。

❸ 風量切換ボタンを押して、「強」「中」「弱」のお好みの風量を選ぶ。

❹ プラズマクラスターボタンを押して、「入」または「切」を選ぶ。
「入」のときは、プラズマクラスターイオンランプが点灯します。

❺ スイングルーバーボタン(上下)を押して、「入」または「切」を選ぶ。
「入」のときは、ルーバーは自動で上下にスイングします。
(お好みの位置で「切」にするとその位置で停止)

❻ スイングルーバーボタン(左右)を押して、「入」または「切」を選ぶ。
「入」のときは、ルーバーは自動で左右にスイングします。
(お好みの位置で「切」にするとその位置で停止)

自動運転時には温湿度センサーのはたらきにより、下表の運転を自動でおこないます。

室温約28℃以下の場合

	湿　　度	約60%未満	約60%以上･約70%未満	約70%以上
	運転状態	送風運転	除湿運転	
プラズマクラスター「入」のとき	プラズマクラスター	標準運転		高濃度運転
	プラズマクラスターイオンランプ	点　灯		ゆっくり点滅

室温約28℃を超える場合

	湿　　度	約55%未満	約55%以上･約70%未満	約70%以上
	運転状態	送風運転	除湿運転	
プラズマクラスター「入」のとき	プラズマクラスター	標準運転		高濃度運転
	プラズマクラスターイオンランプ	点　灯		ゆっくり点滅

停止するときは **もう一度、運転入／切ボタンを押す。**
すべてのランプが消灯し、運転が停止します。

メモ
- スイングルーバー上下、スイングルーバー左右は、手で動かさないでください。モーターに負荷がかかり、故障の原因になります。
- 運転停止後、電源コードを抜かずに再び運転をおこなうと、以前設定した運転モードで運転します。
- プラズマクラスターイオン(クリーン)運転時に前面吹出口から「チッチッチッ」と音がすることがありますが、イオン発生素子の音で、故障ではありません。
- 「冷風」「自動」「連続」「衣類乾燥」時には熱を発生し、室温が上がります。

連続運転

室内湿度に関係なく連続で除湿します。

表示例 | 連続 | 風量「強」 | プラズマクラスター「入」 | スイングルーバー(上下)「入」 | スイングルーバー(左右)「入」 |

❶ 運転入／切ボタンを押す。
運転ランプが点灯し、運転が始まります。

❷ ドライ切換ボタンを押して、「連続」を選ぶ。

❸ 風量切換ボタンを押して、「強」「中」「弱」のお好みの風量を選ぶ。

❹ プラズマクラスターボタンを押して、「入」または「切」を選ぶ。
「入」のときは、プラズマクラスターイオンランプが点灯します。

❺ スイングルーバーボタン(上下)を押して、「入」または「切」を選ぶ。
「入」のときは、ルーバーは自動で上下にスイングします。
(お好みの位置で「切」にするとその位置で停止)

❻ スイングルーバーボタン(左右)を押して、「入」または「切」を選ぶ。
「入」のときは、ルーバーは自動で左右にスイングします。
(お好みの位置で「切」にするとその位置で停止)

連続運転時には、室内湿度に関係なく連続で除湿運転をおこないます。
プラズマクラスター「入」のとき、プラズマクラスターは標準運転をおこないます。

停止するときは **もう一度、運転入／切ボタンを押す。**
すべてのランプが消灯し、運転が停止します。

- スイングルーバー上下、スイングルーバー左右は、手で動かさないでください。モーターに負荷がかかり、故障の原因になります。
- 運転停止後、電源コードを抜かずに再び運転をおこなうと、以前設定した運転モードで運転します。
- プラズマクラスターイオン(クリーン)運転時に前面吹出口から「チッチッチッ」と音がすることがありますが、イオン発生素子の音で、故障ではありません。
- 「冷風」「自動」「連続」「衣類乾燥」時には熱を発生し、室温が上がります。

衣類乾燥運転

衣類を清潔に乾燥します。

表示例 | 衣類乾燥 | 風量「強」 | プラズマクラスター「入」 | スイングルーバー(上下)「入」 | スイングルーバー(左右)「入」

ワンポイント **衣類乾燥運転開始後15分間は、湿度に関係なくプラズマクラスターを高濃度で運転し素早く除菌します。**

❶ 運転入／切ボタンを押す。
運転ランプが点灯し、運転が始まります。

❷ ドライ切換ボタンを押して、「衣類乾燥」を選ぶ。

❸ 風量切換ボタンを押して、「強」「中」「弱」のお好みの風量を選ぶ。

❹ プラズマクラスターボタンを押して、「入」または「切」を選ぶ。
「入」のときは、プラズマクラスターイオンランプが点灯します。

❺ スイングルーバーボタン(上下)を押して、「入」または「切」を選ぶ。
「入」のときは、ルーバーは自動で上下にスイングします。
(お好みの位置で「切」にするとその位置で停止)

❻ スイングルーバーボタン(左右)を押して、「入」または「切」を選ぶ。
「入」のときは、ルーバーは自動で左右にスイングします。
(お好みの位置で「切」にするとその位置で停止)

衣類乾燥運転開始15分以降は、温湿度センサーのはたらきにより、下表の運転を自動でおこないます。

湿　　度		約70%未満	約70%以上
運転状態		除湿運転	
プラズマクラスター「入」のとき	プラズマクラスター	標準運転	高濃度運転
	プラズマクラスターイオンランプ	点　灯	ゆっくり点滅

停止するときは **もう一度、運転入／切ボタンを押す。**
すべてのランプが消灯し、運転が停止します。

- スイングルーバー上下、スイングルーバー左右は、手で動かさないでください。モーターに負荷がかかり、故障の原因になります。
- 運転停止後、電源コードを抜かずに再び運転をおこなうと、以前設定した運転モードで運転します。
- プラズマクラスターイオン(クリーン)運転時に前面吹出口から「チッチッチッ」と音がすることがありますが、イオン発生素子の音で、故障ではありません。
- 「冷風」「自動」「連続」「衣類乾燥」時には熱を発生し、室温が上がります。

送風運転

- 扇風機やサーキュレーターとして使いたいとき。
- 除湿せずにお部屋の空気を清潔にしたいとき。

〔プラズマクラスターイオン(クリーン)と送風のみの運転をします。〕

表示例	送風	風量「強」	プラズマクラスター「入」	スイングルーバー上下「入」	スイングルーバー左右「入」

❶ 運転入／切ボタンを押す。
運転ランプが点灯し、運転が始まります。

❷ クール切換ボタンを押して、「送風」を選ぶ。

❸ 風量切換ボタンを押して、「強」「中」「弱」のお好みの風量を選ぶ。

❹ プラズマクラスターボタンを押して、「入」または「切」を選ぶ。
「入」のときは、プラズマクラスターイオンランプが点灯します。

❺ スイングルーバーボタン(上下)を押して、「入」または「切」を選ぶ。
「入」のときは、ルーバーは自動で上下にスイングします。
(お好みの位置で「切」にするとその位置で停止)

❻ スイングルーバーボタン(左右)を押して、「入」または「切」を選ぶ。
「入」のときは、ルーバーは自動で左右にスイングします。
(お好みの位置で「切」にするとその位置で停止)

- 送風運転時には、プラズマクラスター「入」のとき、プラズマクラスターは標準運転をおこないます。

停止するときは **もう一度、運転入／切ボタンを押す。**
すべてのランプが消灯し、運転が停止します。

メ モ

- スイングルーバー上下、スイングルーバー左右は、手で動かさないでください。モーターに負荷がかかり、故障の原因になります。
- 運転停止後、電源コードを抜かずに再び運転をおこなうと、以前設定した運転モードで運転します。
- プラズマクラスターイオン(クリーン)運転時に前面吹出口から「チッチッチッ」と音がすることがありますが、イオン発生素子の音で、故障ではありません。

オートオフ機能

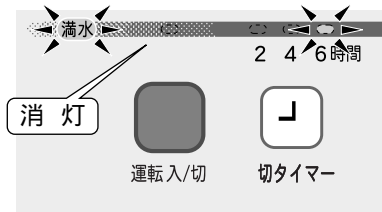
オートオフ機能とは運転切り忘れ防止のため、運転開始から12時間が経過すると運転モードにかかわらず、自動的に運転を停止させる機能です。 オートオフ機能が動作すると切タイマーランプの「6」が点滅して､運転が停止します。

表示例 排水タンクの満水検知後、オートオフ機能動作時での表示

- 排水タンクが満水で、かつオートオフ機能が動作した場合、運転ランプは消灯し、タンク満水ランプ、切タイマーランプの「6」が点滅して、運転が停止します。

メ モ

オートオフ機能動作後、電源コードを抜かずに再び運転をおこなうと、以前設定した運転モードで運転します。
(オートオフ機能の解除のしかた 15ページ)

再運転したいときは **運転入／切ボタンを2回押す。**
1回目で切タイマーランプの点滅が解除され、2回目で運転ランプが点灯して運転が始まります。

切タイマー

❶ 運転ランプが点灯し、運転中であることを確認する。

❷ 切タイマーボタンを押す。

切タイマーの初期表示は、設定時間が「2」(2時間後切)を表示します。

- 切タイマーランプは、切タイマーボタンを押すごとに右のように順に切り換わり、切タイマーの設定ができます。

→2 ►4 ►6 ► **消灯**(取消)

例 4時間後に運転を停止させたいとき ▶ 切タイマーの設定時間を「4」に設定します。

- 運転時間が経過すると、設定した切タイマーランプの表示は「4」から「2」に切り換わります。
- 切タイマー動作中に再び切タイマーボタンを押すと、設定時間を変更できます。
- 切タイマー終了時(運転停止時)には、お知らせ音が鳴り、すべてのランプが消灯します。

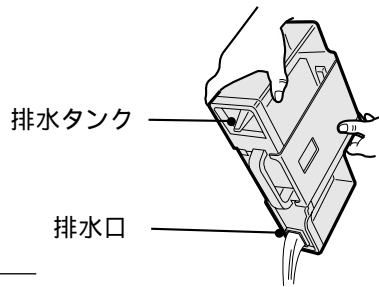
切タイマーを取り消すときは **切タイマーボタンを押して、「消灯」します。**

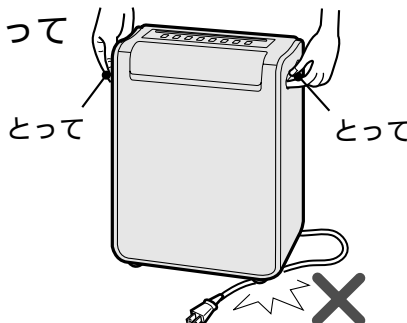
メ モ

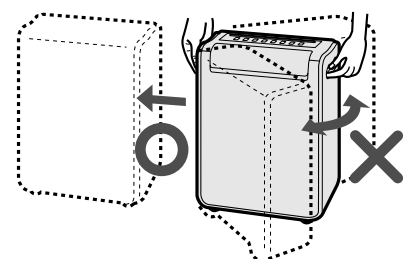
切タイマー動作後、電源コードを抜かずに再び運転をおこなうと、以前設定した運転モードで運転します。(切タイマーの設定は記憶されません)

移動するときのご注意

1 排水タンクの水を捨てる。

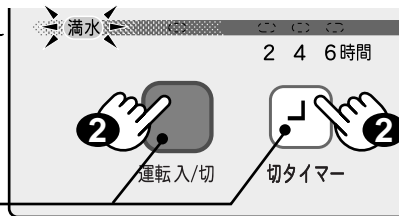
16 ページ

2 両側のとってを持って移動する。

キャスターに電源コードを挟まないよう注意してください。

ご注意

畳や傷の付きやすい床・凹凸のある場所・毛足の長いじゅうたんなどでは、本体を持ち上げて移動してください。
床面やじゅうたんの表面を傷付ける原因になります。

便利な機能

オートオフ機能の解除 (12時間以上続けて使いたいとき)

❶ 差込プラグを差し込む。

❷ 運転停止中に「**切タイマーボタン**」を押しながら、「**運転入／切ボタン**」を3秒以上押すと設定音が鳴り、「タンク満水ランプ」が約5秒間点灯して、オートオフ機能が解除されたことをお知らせします。

設定をオートオフ機能にもどしたい場合

差込プラグをコンセントから抜き、再度差し込むと設定が解除されます。または、❷の操作をすると3秒後に「ピッ」と鳴り、設定完了をお知らせします

お知らせ音を消す (満水「お知らせ音」および、切タイマー終了「お知らせ音」)

夜、おやすみ時に運転をされる場合など、「お知らせ音」が気になるときにおすすめします。

❶ 差込プラグを差し込む。

❷ 運転停止中に「**切タイマーボタン**」と「**ドライ切換ボタン**」を3秒以上同時に押すと、設定音が鳴ります。

❸ 運転入／切ボタンを押し排水タンクを取り出して、「お知らせ音」が鳴らなければ設定完了です。

元にもどしたい場合

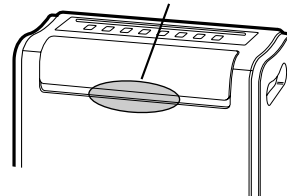
差込プラグをコンセントから抜き、再度差し込むと設定が解除されます。または、❷の操作をします。

プラズマクラスターイオンランプを消す

夜、おやすみ時に運転をされる場合など、「プラズマクラスターイオンランプ」が気になるときにおすすめします。

❶ 差込プラグを差し込む。

❷ 運転停止中に「**切タイマーボタン**」と「**スイングルーバーボタン(上下)**」を、3秒以上同時に押すと、設定音が鳴ります。

❸ 運転入／切ボタンを押しプラズマクラスターボタンを「入」にしても、プラズマクラスターイオンランプが点灯しなければ設定完了です。

元にもどしたい場合

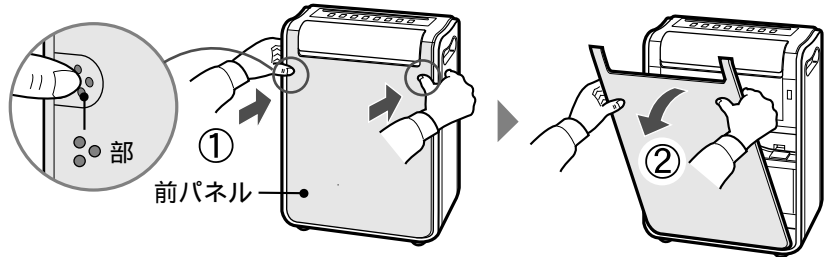
差込プラグをコンセントから抜き、再度差し込むと設定が解除されます。または、❷の操作をします。

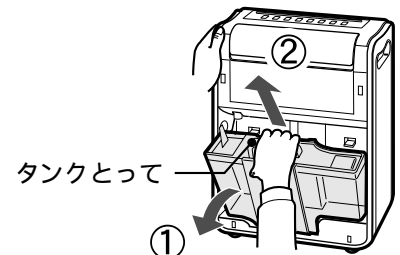
排水のしかた

排水タンクを取り出すと、タンク満水ランプが点滅して運転を停止します。

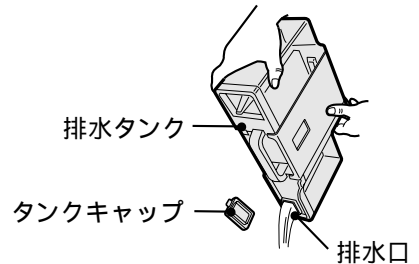
排水タンクに約2.8リットルの除湿水が溜ると自動的に運転を停止します。操作部のタンク満水ランプが点滅してお知らせ音(約8秒間)でお知らせしますので、排水タンクの水を捨ててください。
排水後、タンクを戻すと運転を再開します。

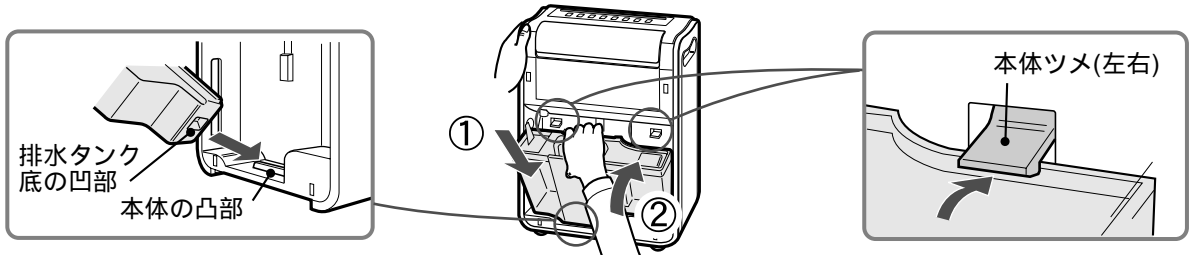
1 前パネルをはずす。

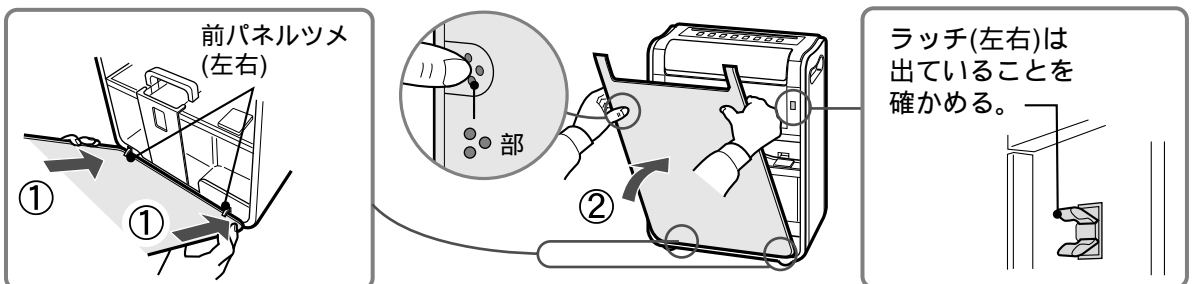
前パネルの上部左右の ⁘ 部を「カチッ」と音がするまで押し込んで指を離すと、前パネルの上部が開きます。

2 排水タンクを取り出す。

① 本体が動かないように押さえながら、「タンクとって」を持って水がこぼれないように少し手前に倒します。
② 斜め手前に引っ張ります。

3 水を捨てる。

タンクキャップをはずし、排水タンクを傾けて、排水口から水を抜きます。

- 満水時は、重さが約3.6kgになります。持ち運びのときには、傾けたり落としたりしないよう、気を付けてください。
  タンクキャップは、なくさないでください。

4 排水タンクを本体にセットする。

① 本体が動かないように押さえながら「タンクとって」を持ち、排水タンク底の凹部を、本体の凸部にはめるように入れます。
② 本体ツメ(左右)に確実にはめ込みます。

5 前パネルを取り付ける。

① 前パネルツメ(左右)を本体の穴へはめます。
② 前パネル上部にある、⁘ 部を「カチッ」と音がするまで押さえ、はめ込みます。

ご注意

- **排水タンクを取り出した後、本体奥の内部に触れない。**
  満水停止装置の故障の原因になります。
- **本体を移動するときは運転を停止して、必ず水を捨てる。**
  排水タンク内の水が振動で床などにこぼれ、家財などを濡らす原因になります。

連続排水のしかた

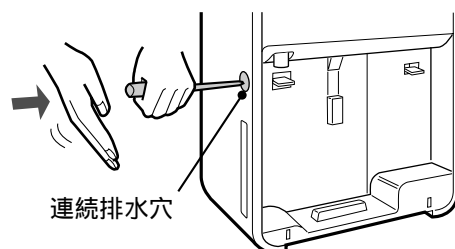
連続排水運転で使用するときのご注意

- この除湿機は家庭用除湿機です。連続排水運転のときは、定期的に(2週間に1回)フィルターの汚れ、排水ホースの詰まりなどを点検し、異常のないことを確認してください。
  排水ホースは、ホースの周囲が氷点下にならない場所に設置してください。
  (ホース内部の水が凍結すると、本体内部の水が室内にこぼれ、家財などを濡らす原因になります)
- ホースの先から虫が入るような場合は、ネット(網)を取り付けるようおすすめします。
- **連続排水運転時にも、運転開始12時間後に自動停止するオートオフ機能は動作します。**
  オートオフ機能の解除は、オートオフ機能の解除のしかた(15ページ)をご覧ください。

近くに排水できる場所があれば、連続排水ができます。
必ず運転を停止し、差込プラグをコンセントから抜き、次の手順でおこなってください。

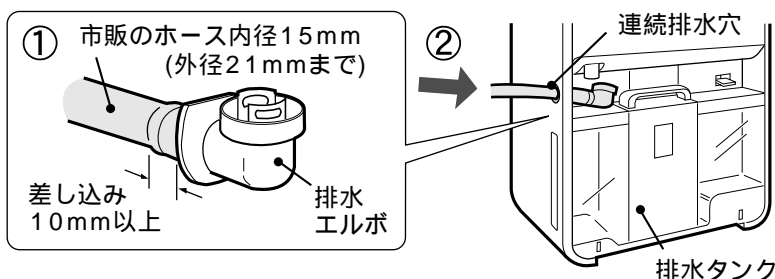
1 排水タンクを取り出し連続排水穴を開ける。

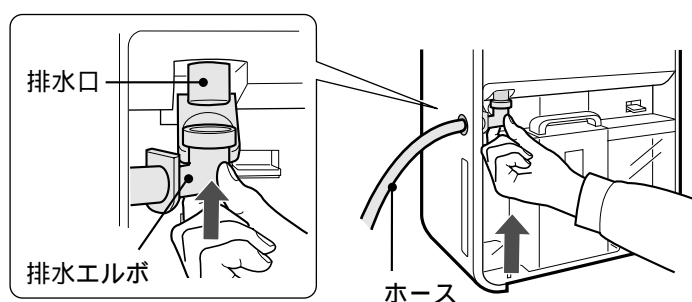
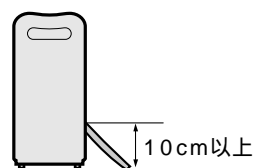
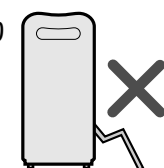
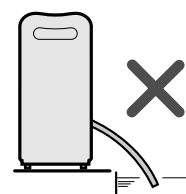
本体側面の連続排水穴を、マイナスドライバーなどで押します。
このとき、本体を傷付けないように注意してください。

穴の縁は「ヤスリ」などで削り、仕上げます。

2 排水タンクを取り付ける。 16ページ

排水タンクを取り付けないと、運転できません。
(本体内の満水停止装置が動作し、運転停止状態になります)

3 ホースの先端に排水エルボを取り付ける。

① ホースを、本体側面の連続排水穴に通します。
② 排水エルボを、右図のようにホースに取り付けます。

4 排水エルボを本体に押し込む。

本体の止水弁を押し開きながら、排水エルボを排水口に根元までしっかり押し込みます。

連続排水時のホースの引きかた

連続排水をやめて元へ戻す場合 ／ 排水エルボを抜き、ホースを連続排水穴から抜きます。

お手入れ

●清潔で衛生的に長くお使いいただくために、定期的にお手入れすることをおすすめします。

フィルター ▶ 2週間に1回程度

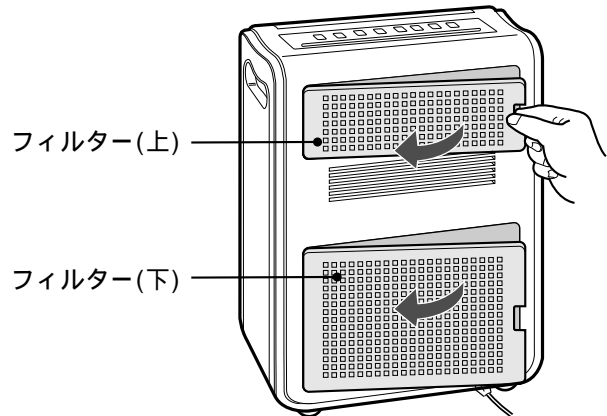
フィルターの目詰まりは、除湿能力の低下の原因や、電気代の無駄にもなります。
フィルターを付けずに運転すると、本体内部にほこりが溜まり故障の原因になります。

1 差込プラグをコンセントから抜く。

安全のため、必ず運転を停止し、差込プラグをコンセントから抜いてください。

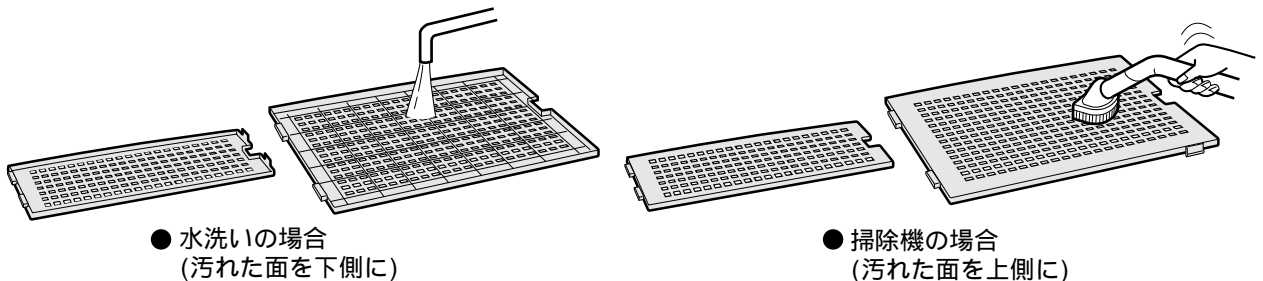
2 フィルターを取りはずす。

フィルターは上下2種類あります。

フィルター右側を持ち、本体の穴からはずして手前に引きます。

3 フィルターの汚れを取る。

汚れは、水や中性洗剤(食器用洗剤)を薄めたぬるま湯で洗い流すか、掃除機で吸い取ります。
水洗いの場合は、日陰で十分に乾かしてください。

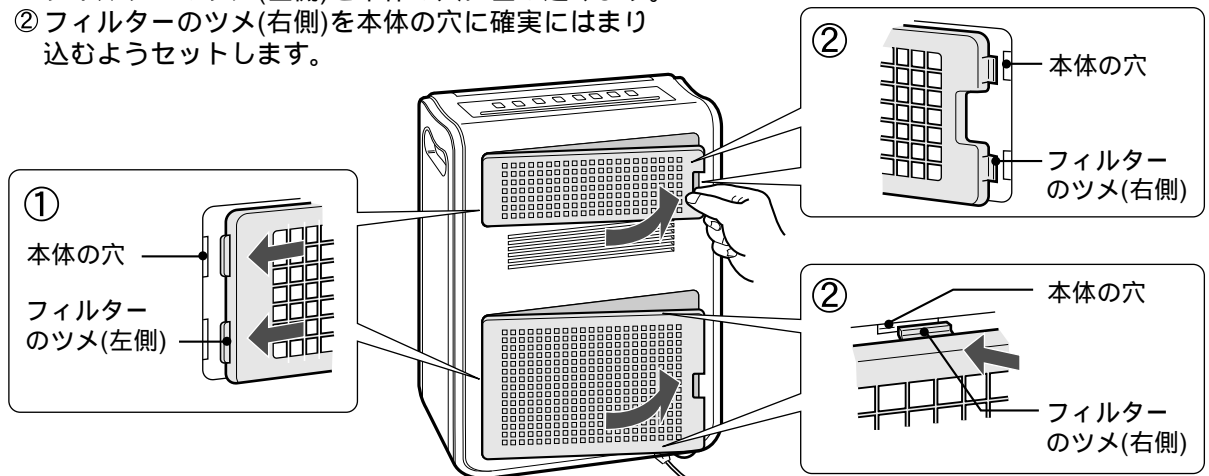
● 水洗いの場合
(汚れた面を下側に)

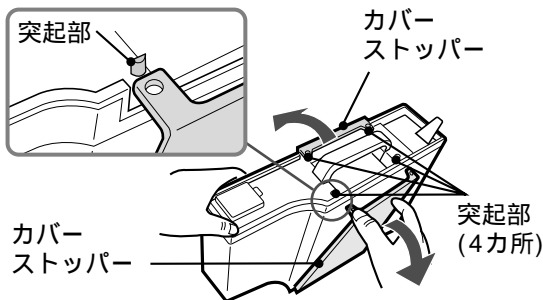
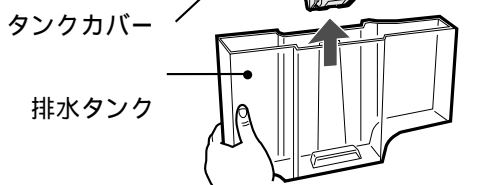
● 掃除機の場合
(汚れた面を上側に)

4 フィルターを元通りにセットする。

① フィルターのツメ(左側)を本体の穴に差し込みます。
② フィルターのツメ(右側)を本体の穴に確実にはまり込むようセットします。

①
本体の穴
フィルターのツメ(左側)

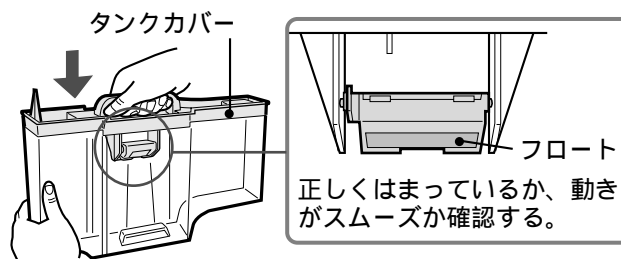
②
本体の穴
フィルターのツメ(右側)

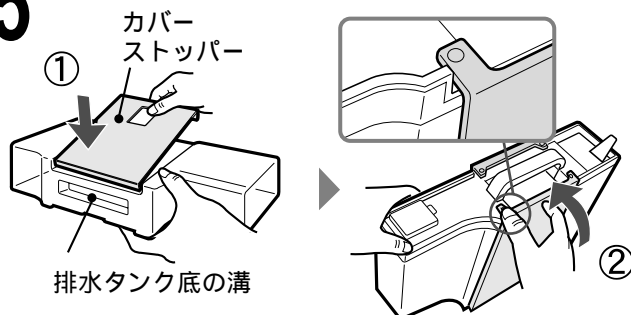
②
本体の穴
フィルターのツメ(右側)

排水タンク ▶ 1週間に1回程度

1 **カバーストッパー(2枚)を取りはずす。**
タンクカバーの突起部(4カ所)からカバーストッパーを外側に引っ張り、はずします。

2 **排水タンクからタンクカバーを取りはずす。**

タンクカバー
引く
排水タンク

3 **排水タンク内外を洗う。**
お手入れには、食器洗い用のスポンジなどが便利です。

- 長期間使用されると除湿水が黒くなり、排水タンクが汚れます。そのときは、中性洗剤(食器用洗剤)を薄めたぬるま湯で洗い流します。

4 **排水タンクを柔らかい布で拭き、タンクカバーを取り付ける。**
確実にはめ込んでください。

5 **カバーストッパーを取り付ける。**

①
カバーストッパー
排水タンク底の溝
②

① カバーストッパーを、排水タンク底の溝にはめる。
② 上部をはめ、タンクカバーの突起部(4カ所)をカバーストッパーに確実にはめる。タンクカバーがはずれるおそれがあります。

ご注意
- フロートを傷めないよう注意してください。
- フロート内の青色の部品は取りはずさないでください。

本　体 ▶ 1カ月に1回程度

ぬるま湯(40℃以下)か洗剤を含ませた、柔らかい布で汚れを拭き取ります。
- 洗剤をお使いのときは、必ず水洗いした布をよく絞って洗剤を拭き取ります。
- 吸込口・吹出口も汚れやすいところです。忘れずにお手入れを。

ご注意
- 本体に水がかかると絶縁が悪くなったり、さびたりします。
- 洗剤は中性洗剤(食器用洗剤)をお使いください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- 次のようなものは使わない。プラスチックを傷めます。

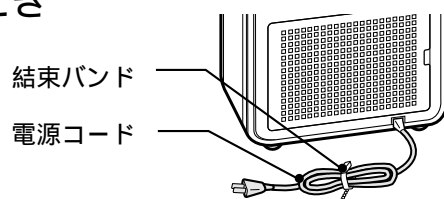
シンナー・ベンジン・アルコール・石油・粉石けん・みがき粉・アルカリ性洗剤・熱湯・酸・たわしなど

長期間ご使用にならないとき

1 **排水タンクに残っている水を完全に捨てる。** 16 ページ
タンクカバーをはずし、排水タンクの水を拭き取ります。

2 **フィルターを掃除する。** 18 ページ

3 **電源コードを、付属の結束バンドでまとめる。**

結束バンド
電源コード

保管場所は 本体を十分に乾燥させてからお買いあげのときの箱に入れるか、ほこりよけの簡単なカバーをかぶせ、直射日光の当たらない、風通しのよい場所に保管してください。カバーなしで保管すると、運転されたとき本体に侵入したほこりが吹き出すことがあります。

保証とアフターサービス

修理を依頼されるときは 出張修理

1 「故障かな?」(23ページ)を調べてください。

2 それでも異常があるときは使用をやめて、必ず差込プラグを抜いてください。

3 お買いあげの販売店に次のことをお知らせください。

・品名：冷風･衣類乾燥 除湿機
・形名：(保証書に記載の形名)
・お買いあげ日(年月日)　・故障の状態 (具体的に)
・ご住所 (付近の目印も合わせてお知らせください)
・お名前　・電話番号　・ご訪問希望日

保証書(一体)

● **保証期間…お買いあげの日から1年間です。**
ただし、次の部品のみ3年間です。

圧縮機・毛細管・冷却器・配管・放熱器(凝縮器)

保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

保証期間中

● 修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

● 修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

補修用性能部品の保有期間

● 当社は冷風･衣類乾燥 除湿機の補修用性能部品を製品の製造打切後、8年保有しています。
● 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料･部品代･出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

便利メモ

お客様へ … お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年　月　日	電話(　　　)　ー

転居されたり贈答品などで保証書記載の販売店にご相談できない場合は、以下のサービスをご利用ください。

不具合品の訪問引き取り･修理･お届けサービス
《修理品引き取りサービス》のご案内

修理品引き取りサービスとは、お持込みいただける商品を、電話で修理依頼をいただきますと、業務委託した宅配業者が、お客様のご都合の良い日時にご自宅まで訪問してお預かりし、弊社で修理完了後、ご自宅までお届けに伺うサービスです。

ご利用料金

■ 運送費

保証期間内	無　料
保証期間外	1,050円(税抜価格1,000円) および梱包資材費＋代引き手数料

※梱包料を含む往復料金(税込)
※保証期間内でも有料となる場合があります。
　詳しくは、保証書をご確認ください。

■ 修理料金

保証期間内	無料(保証書記載の「保証規定」に準じます)
保証期間外	有料(修理内容により異なります)

※保証期間内でも有料となる場合があります。
　詳しくは、保証書をご確認ください。

お申し込み **「修理相談センター」にお電話でお申し込みください。**

0570 - 02 - 4649

● 受付時間　月曜～土曜 ： 午前 9時 ～ 午後6時
　　　　　　日曜／祝日 ： 午前10時 ～ 午後5時

年末･年始･当社指定の休日および天災など、やむをえない状況の際は、臨時に休ませていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。
●ナビダイヤルは全国一律料金でご利用いただけます。
・携帯電話・PHSからはナビダイヤルを一部ご利用いただけません。
　下記の一般電話におかけください。
●ファクシミリを送信される方は、下記FAX受信専用番号にお願いします。

	東日本エリア	西日本エリア
一般電話	043 - 299 - 3863	06 - 6792 - 5511
専用FAX	043 - 299 - 3865	06 - 6792 - 3221

電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

お引き取り

当社指定の宅配業者(ヤマト運輸)がお引き取りに伺います。

●お引き取り時間は、下記時間帯よりお選びいただくことができます。
　AM／12時～14時／14時～16時／16時～18時／18時～21時
●お引き取り日はご依頼日の翌日以降となります。
●18時～21時の時間帯は土・日・祝日は除きます。
●交通事情などの理由により、ご指定の時間にお伺いできない場合がございます。
※離島の場合は、船便などのスケジュールにより、ご訪問できる日時が変動します。
※修理品は宅配業者が梱包箱を持参してお伺いし、梱包させていただきます。

修理・お届け

修理完了後、シャープエンジニアリング(株)よりご連絡いたします。

●ご連絡時にサービス料金(修理代金＋利用料)と発送日をご連絡いたします。
●ヤマト運輸が修理完了品をお届けに伺います。
●サービス料金(修理代金＋利用料)をヤマト運輸に現金でお支払いください。
※離島の場合は、船便などのスケジュールにより、ご訪問できる日時が変動します。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについての「ご相談」ならびに「ご依頼」は、お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

- 製品の故障や部品のご購入に関するご相談は…… **修理相談センター** へ
- 製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は……… **お客様相談センター** へ

修理相談センター

●**修理相談センター**（沖縄・奄美地区を除く）

■ **受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時**（年末年始を除く）

0570-02-4649

当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。

（注）・PHS・IP電話からは、下記電話におかけください。

		〈東日本地区〉	〈西日本地区〉
●PHS／IP電話でのご利用は………	（一般電話）	043-299-3863	06-6792-5511
●FAXを送信される場合は…………	（ＦＡＸ）	043-299-3865	06-6792-3221

●**沖縄・奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。**

◎ **「持込修理」および「部品購入」のご相談** は、上記「修理相談センター」のほか、下記地区別窓口にても承っております。

■ **受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後5時30分**（祝日など弊社休日を除く）
〔ただし、沖縄・奄美地区〕は…＊月曜～金曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

担当地区	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札幌 サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北地区	仙台 サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	さいたま サービスセンター	048-666-7987	〒331-0812	さいたま市北区宮原町2-107-2
	宇都宮 サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京 テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多摩 サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千葉 サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稔台295-1
	横浜 テクニカルセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
東海地区	静岡 サービスセンター	0543-44-5781	〒424-0067	静岡市清水鳥坂1170-1
	名古屋 サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
北陸地区	金沢 サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚4-103
近畿地区	京都 サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大阪 テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	阪神 サービスセンター	06-6422-0455	〒661-0981	兵庫県尼崎市猪名寺3-2-10
中国地区	広島 サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高松 サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福岡 サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄・奄美地区	那覇 サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

お客様相談センター

0120-078-178

●フリーダイヤルがご利用いただけない場合は…

	TEL	FAX	所在地
東日本相談室	043-351-1821	043-299-8280	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	06-6792-1582	06-6792-5993	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

■ **受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時**（年末年始を除く）

- FAX送信される場合は、お客様へのスムーズな対応のため、形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。
- 所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。　(0511)

仕　様

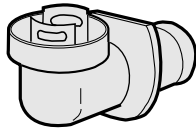
項目		単位	50Hz	60Hz
電源電圧			100V	
電源周波数			50Hz	60Hz
定格除湿能力		L/日	9	10
消費電力(風量「強」)	室温27℃ 湿度60%	W(電気代の目安)	240(約5.3円／h)	280(約6.2円／h)
	室温30℃ 湿度60%	W(電気代の目安)	270(約5.9円／h)	320(約7.0円／h)
送風運転(風量「強」)		W	49W	60W
※待機中		W	0.5	0.5
除湿可能面積の目安		m² (畳)	19～38(11～23)	21～42(13～25)
			(木造住宅～コンクリート住宅)	
排水タンク容量			約2.8Lで自動停止	
電源コード			有効長　約 1.8m	
外形寸法		mm	幅380×奥行235×高さ515	
質量		kg	約14.5	

- 定格除湿能力は室温27℃、相対湿度60%を維持し続けたときの1日当りの除湿量です。(「冷風」・風量「強」のとき)
- 消費電力は最大値を表示しています。
- 電気代の目安は、2006年3月現在の電力料金目安単価22円／kwh(税込)で計算した値です。

※ 待機中とは、差込プラグをコンセントに差し込んだ状態です。

- 除湿可能面積の目安は、JEMA(日本電機工業会)規格に基づいた数値です。

付属品

排水エルボ (1個)

連続排水時に使います。

印刷物付属品 (1部)

- 取扱説明書(保証書付)

故障かな？

次のような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。 なお、「保証とアフターサービス」については 20ページ をご覧ください。

こんな場合	調べるところ
運転が停止する	● 差込プラグがはずれていませんか。 ● 停電ではありませんか。
タンク満水ランプが点滅している	● 排水タンクが正しく入っていますか。 ● 排水タンクが満水になっていませんか。
スイングルーバー(上下)ランプが点滅している	● 本体後ろのすき間が狭くありませんか。5ページ 約40分程度してから、すき間を20cm以上あけ、運転入/切ボタンを2回押して再運転してください。 ● 室温が高くありませんか。3ページ
切タイマーランプ「6」が点滅している	● この商品には切り忘れ防止のため、オートオフ機能が付いています。この機能が動作すると運転が停止し、切タイマーランプ「6」が点滅します。13ページ
除湿量が少ない(タンクに水が溜まらない)	● フィルターが目詰りしていませんか。 ● 吹出口や吸込口がふさがっていませんか。 ● お部屋の温度・湿度が低くありませんか。 ● 送風運転になっていませんか。13ページ
除湿運転でなかなか湿度が下がらない	● お部屋が広すぎませんか。 ● 窓や出入口の開閉が多くありませんか。 ● 石油ストーブなど、水蒸気が出るものを使っていませんか。 ● 送風運転になっていませんか。13ページ
水がもれる	● 本体を傾けたり、倒したり、落としたりしていませんか。 ● 連続排水時、排水エルボの接続が不完全だったり、ホースがはずれていませんか。
音がうるさい	● 除湿機の置きかたが悪く、がたついていませんか。 ● 床が不安定ではありませんか。 ● フィルターが目詰まりしていませんか。 ● 温度が低いときに運転を始めると、数秒間音が大きくなることがあります。(温度条件により時間は変わります)
吹き出しの風がにおう	● プラズマクラスターイオン発生器で発生するオゾンのにおいがすることがありますが、健康上問題ありません。
製品から「チッチッ」と音がしたりしないときがある	● プラズマクラスターイオン発生時に出る音です。 就寝時など気になるときは、製品との距離を離してください。 ● お部屋の湿度で音が大きくなったり、小さくなったり、またほとんど聞こえないときがありますが、プラズマクラスターイオンの効果は同じです。
室温が上がる	● この商品は、お部屋全体を冷やす冷房機能はありません。 「冷風」「自動」「連続」「衣類乾燥」時には、前面や背面吹出口から暖かい風を出す構造ですので、お部屋を閉め切ったまま長時間運転すると、室温が上昇します。
運転開始時・停止時などに音がする「シュルシュル」「ゴーゴー」	● 冷媒(冷却液)の循環する音です。
冷風が出ない	● 「冷風」以外の運転をしていませんか。 ● 「冷風」「自動」「連続」「衣類乾燥」停止後や、差込プラグを差し込んだ直後約3分間は、機械保護のため送風のみとなります。
風量「弱」「中」で運転中に「強」の風量が出る	● 室温が約35°C以上のときは、風量「弱」「中」で運転中でも圧縮機(コンプレッサー)の温度を下げるため、風量が自動的に「強」になります。 3ページ

運転ランプが点滅している	● 運転ランプが点滅して運転しない場合は、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にご相談ください。

愛情点検

長期ご使用の場合は商品の点検を!

こんな症状はありませんか?

- ●電源コードや差込プラグが異常に熱くなる。
- ●電源コードに深いキズや変形がある。
- ●さわるとピリピリ電気を感じる。
- ●焦げ臭いにおいがしたり、運転中に異常な振動がする。
- ●その他の異常や故障がある。

ご使用中止

●故障や事故の防止のため、使用を中止し差込プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

● 製品についてのお問い合わせは…

お客様相談センター

0120-078-178

フリーダイヤルがご利用いただけない場合は

東日本相談室　TEL 043-351-1821　FAX 043-299-8280
西日本相談室　TEL 06-6792-1582　FAX 06-6792-5993

《受付時間》月曜～土曜：午前9時～午後6時　日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

● 修理のご相談は…　21ページ記載の「お客様ご相談窓口のご案内」をご参照ください。

● シャープホームページ　http://www.sharp.co.jp/

シャープ株式会社

本　社　〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
電化システム事業本部　〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3丁目1番72号

Printed in China
TINSJA108FBRZ　06B－ CN ①